17歳女子柔道選手の挑戦

道阻む世相、財政難

大河流れて

初めて挑んだ国際大会は1分16秒で終わった。アフガニスタンの柔道女子57キロ級。ファヒマ・ラザイ(17)は初戦で韓国選手(19)に抑え込みで一本を取られた。試合後、「いい経験。世界との距離は遠いと実感した」と唇をかんだ。

イスラム原理主義を掲げるタリバン政権時代、少数派のハザラ人の一家は隣国パキスタンで7年間、難民生活を送った。タリバン政権崩壊後の01年、カブールに戻ると、タリバンが禁じた女性のスポーツは解禁された。

8人きょうだいで、姉のファリバ(25)は建国史上初めて五輪(04年アテネ)に出場した女子柔道選手。姉の影響で13歳から柔道を始めた。06年に初出場したインド、ネパール、アフガン3カ国大会でいきなり優勝。活躍に触発され、17人の女性が柔道を始めた。「アフガン女性に勇気を与えたい」と意気を燃かせる。

タリバン政権崩壊後、治安情勢は再び悪化。テレビの人気司会者だった姉のシャイマ(当時24歳)は、アフガン最初の西欧風音楽番組で人気を集めたが、「イスラム社会を壊す」と批判を浴びた。その矛先は芸能界のシャイマに集中し、05年に自宅で殺害された。女性の社会進出を疎む世相が暗い影を落とす。ファヒマは身の危険からイスラマバードに移って柔道を続ける。

試合に敗れたアフガニスタンのファヒマ・ラザイ＝大西岳彦撮影

アフガンのスポーツ振興について、モハマド・ムスタファ・ウォダック選手団長は「サッカーのワールドカップ予選に出場し、バスケットボールも盛ん」と強調する。

しかし、厳しい財政難によりスポーツ振興の道は険しい。多くの競技が国際機関の支援頼みで、支援のない競技は設備も選手育成もままならない。

サッカーは国際サッカー連盟(FIFA)の支援金が年2万5000ドル(約210万円)あり、武術は中国、テコンドーは韓国からコーチが派遣されている。その一方、柔道の活動予算は年200ドル(約1万6000円)だという。柔道コーチのファルハド・ハザラティさん(31)は「国内スポンサーを探すのは至難の業」と嘆く。ファヒマは願う。「日本人コーチに指導を受け、五輪に出場したい」

【鈴木玲子】